

トピックスの決断

北の経営者たち

1998年10月、道内でガソリンスタンド（GS）を展開する中和石油の本社3階社長室。幹部たちにもぐり語りかけた。議題は、原油を精製してGSにガソリンなどを販売する石油元売り会社との関係の見直しだ。「元売りに依存しすぎる経営では、いずれ行き詰まる。独自の流通経路を築いて、自主自立の経営に転換しようと思う」。そう言い終えてソファに腰掛けると、軽く身震いがした。幹部たちから口々に「一緒に頑張りましょう」と声が掛かった。独りじゃない、と思うと力がみなぎってきた。

この日まで数週間、社長室に幹部が連日集まり、話し合いを重ねてきた。ガソリンの卸価格をめぐり、元売りと交渉が暗礁に乗り上げていたからだ。当時は、中和石油を含め大半のGSが元売り1社からガソリンを仕入れており、元売りが系列GSに対して卸価格を「一方的に決めていた」のが実情だ。忠誠を尽くして販売努力を重ねたGSに対して、元売りは半期や決算期ごとに「経営支援」という名目で、ガソリン代金の一部をGS側に返金。この独特の慣習は「事後調整」と呼ばれ、元売りの強大な力を象徴するものだった。

しかし、96年に特定石油製品輸入暫定措置法（特石法）が廃止され、元売りに限っていた石油製品の輸入に、商社など他業種も参入できるようになった。競争激化を警戒した元売りは、コストのかかる事後調整を凍結した。

「あてにしていたお金が入らないとGSの経営は立ちゆかなくなる。50年間も元売りと家族同然の付き合いをしていたのに、この事態だ。元売り頼みの経営ではだめなんだ」

備蓄タンク確保

自主自立の経営を目指し、主な仕入れ先は外資系元売りのモノ

元売り頼み脱却 仕入れ経路を複数化



「自前の流通経路があれば災害時でも安定供給できる」と話す杉沢達史さん＝札幌市内の中和石油本社

1948年、札幌市生まれ。長である父敏正氏の死去に伴い、1971年、山一証券を退社。79年に山一証券（当時）に入社。中和石油に入社し、社長に就任した。100%子会社で石油卸の太陽商事（札幌）社長、駐在などを経験した。前社、油卸の太陽商事（札幌）社長、会長を務めた。

中和石油社長 杉沢 達史さん(64)

■中和石油	
▽本社	札幌市中央区南4西9の1008
▽設立	1954年
▽業種	石油製品販売
▽資本金	4800万円
▽売上高	192億8900万円（連結、2011年3月期）
▽従業員数	296人（グループ全体）

震災直後も安定供給

1979年春、アラブ首長国連邦（UAE）のアブダビ投資庁（政府系ファンド）の総裁の自宅に招かれた。パーティーの最中、札幌の母から電話を受けた。がんで入院中の父が危篤との知らせだった。意識のない父に、受話器越しに「おやじ」と呼び掛けた。すると突然「達史、あとは頼んだ。会社をよろしくな」と絞り出すような声が聞こえてきた。思わず「分かっているよ」と答えていた。

父の死が転機に

1979年春、アラブ首長国連邦（UAE）のアブダビ投資庁（政府系ファンド）の総裁の自宅に招かれた。パーティーの最中、札幌の母から電話を受けた。がんで入院中の父が危篤との知らせだった。意識のない父に、受話器越しに「おやじ」と呼び掛けた。すると突然「達史、あとは頼んだ。会社をよろしくな」と絞り出すような声が聞こえてきた。思わず「分かっているよ」と答えていた。

取材を終えて

取材を終えて 突然、証券会社のサラリーマンから経営者へと転身した。その苦勞を尋ねると、「不安はなかった。投資があつて利益がある。そこは同じだから」と淡々と話す。ただ、「今は社員たちが汗水流して働き、利益を生み出してきている。前の会社の仕事とは大きく違う」。仕事に厳しい経営者の顔に満面の笑みが浮かんだ。（日栄隆使）

1948年、札幌市生まれ。長である父敏正氏の死去に伴い、1971年、山一証券を退社。79年に山一証券（当時）に入社。中和石油に入社し、社長に就任した。100%子会社で石油卸の太陽商事（札幌）社長、駐在などを経験した。前社、油卸の太陽商事（札幌）社長、会長を務めた。

1979年春、アラブ首長国連邦（UAE）のアブダビ投資庁（政府系ファンド）の総裁の自宅に招かれた。パーティーの最中、札幌の母から電話を受けた。がんで入院中の父が危篤との知らせだった。意識のない父に、受話器越しに「おやじ」と呼び掛けた。すると突然「達史、あとは頼んだ。会社をよろしくな」と絞り出すような声が聞こえてきた。思わず「分かっているよ」と答えていた。

突然、証券会社のサラリーマンから経営者へと転身した。その苦勞を尋ねると、「不安はなかった。投資があつて利益がある。そこは同じだから」と淡々と話す。ただ、「今は社員たちが汗水流して働き、利益を生み出してきている。前の会社の仕事とは大きく違う」。仕事に厳しい経営者の顔に満面の笑みが浮かんだ。（日栄隆使）

次回は医薬品卸、モロオ（札幌）の師尾仁社長の予定です。